

令和3年度町政執行方針概要



町長 横山 茂

3月11日に開会された第1回議会定例会で、横山町長が令和3年度の執行方針について述べました。

今回の広報では、その主な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

第6次総合計画で目指す将来像「子どもたちが誇りをもてるふるさと創造」を基軸とした、5つの基本目標の実現に向け着実に前進させることを基本とし、町民皆様が夢と希望と誇りを持ち、いつまでも安心していきいきと暮らすことができるまちづくりと、人口の確保を政策コンセプトとして「関係人口の創出・拡大」に向けた、既存事業の見直しと新規事業を加えることで施策に厚みを持たせることと併せて有機的な連携を図り、町民皆様の満足度と幸福度の向上を目指して展開してまいります。

○健康づくりの推進

令和2年度を始期とする第2次沼田町健康増進計画に基づき、町民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組み、健康寿命の延伸を目指していけるよう生活習慣病予防と重症化予防の徹底を図ることとし、各種健診の費用助成を含めた受診勧奨及び、町立沼田厚生クリニックを受診し禁煙治療に要する医療費の助成等を継続して取り組むとともに、町民皆様の健康に対する意識付けと受診勧奨を目的に、各種健康事業への参加や特定健診、各種がん検診の受診に対し、新たに行政ポイントを付与することとし健康づくりを推進してまいります。

○子育て支援の充実

令和2年度を始期とする「第2期子ども・子育て支援事業計画」により、子育て支援事業を推進しており、地域子育て支援センター運営事業などの子育て支援事業や母子の健康づくりに関する健診費用助成などを継続するとともに、新たに妊娠出産に係る費用の経済的

負担の軽減と不安を抱えた妊婦への継続的な支援を目的として、北海道が実施する不育症治療費の助成額を上回る経費について助成を行うことといたしております。



○農業の振興

水稻を中心とした営農体制維持には、畑作や高収益作物も含めた複合経営の推進が必要であり、農業所得の確保と農業経営の安定化を図るため、引き続き、農業所得向上対策事業、農地流動化支援事業、多面的機能支払制度、中山間地域等直接支払制度などを継続実施するとともに、新たに良食味米生産・耐病性の向上などを目的に、ケイ酸資材購入に対しＪＡと連携して助成を行う「良品質米栽培助成事業」に取り組んでまいります。

農地流動化においては農業委員会等関係団体の努力と、地域の受け皿となる担い手農業者の安定経営に向けた規模拡大意向に沿って順調に推移し、農地集積率は引き続き90%を超える水準を維持しており、今後も農地の流動化が円滑に進むために必要な農業生産法人の設立支援や新規就農者等担い手の確保対策に継続して取り組むとともに、昨年設立された沼田町スマート農業研究会による実証結果を踏まえつつ、沼田町に相応しいスマート農業技術の導入・普及促

進を図ってまいります。

○ぬまたアグリファーム

人口減少に伴う国内市場の減少や農業者の減少・高齢化が深刻化する現状において、将来を見据えた持続可能な沼田農業の構築のためスマート農業の実現や、将来の農業・地域を担う担い手確保に向けＪＡ及び関係機関団体の連携により、研修期間中及び就農後における新規就農者をオール沼田でサポートする「ぬまたアグリファーム」を本年4月に開設することとし所要額を予算計上いたしております。



○企業誘致の推進

地方創生において雇用創出は最重要課題であり、持続可能なまちづくりを実現するため、積極的に取り組んでまいります。

昨年コロナ禍で実施できなかった道内外の企業に対する企業訪問活動を再開しつつ、企業のニーズを的確に把握しながら「サテライトオフィス設置促進事業」の積極的なＰＲにより、企業立地に向けた足掛かりに繋がるよう努めてまいります。

また、企業の多様な働き方を支援するため「ワーケーション」を推進し、企業社員やその家族等との関係人口を増やしていくとともに、ノマドワーカーやＩＴ企業等とのビジネス機会を創出できるよう、自然環境センター（ほたる学習館）の改修工事を予算計上いたしております。

雇用創出の新たな戦略として、農業分野での産業クラスター化に向けた誘致活動についても積極的に推進し、本町の強みであります雪利用を活かした食料の安定供給を目指し、新たに策定する「令和

令和3年度 町政執行方針概要

版沼田町食料貯蔵流通基地構想」と連携し取り組んでまいります。

○商工業の振興

商工業者自らが経営の安定化維持を目指し策定する「商店街活性化計画」に係る研修や先進地視察に要する経費及び、令和3年3月から開始した新たな「沼田町ポイントカード（NumaCa）」の積極的かつ持続的な事業運営のための補助金を、「商工業活性化サポート事業」に増額し、また、同カードに「沼田町行政ポイント」を導入することで、町内消費に繋げていただくための所要額を予算計上いたしております。

○観光の振興について

昨年度は、集客を見込む観光イベントが中止となり、観光客の大幅な減少となったことは非常に残念であり、町内経済も大きな打撃を受けました。

本年度は、ウィズコロナによる多様なスタイルでの観光イベントを開催する方向で観光協会や実行委員会等と模索しており、特に本町の一大イベントである「夜高あんどん祭り」については、昨年度中止の影響や従来開催形式では感染リスクが高く大勢の観光客は見込めないことから、コロナ禍におけるニーズや若者をターゲットとしたインターネット広告・情報発信に対応するため、WEB広告やYouTube、SNSなど、長期的なPRツールを使った情報配信ができるよう「夜高あんどん継承事業」に所要額を予算計上いたしております。

○移住定住の促進

定住促進の視点からこれまでの事業に加えて、新たに「ぬまたラ

イフサポート事業」として小中高生のいる全世帯に対して年間60kgの雪中米を配布することや、高校を卒業しても町内に就職して住み続けられる沼田っ子の普通自動車運転免許取得を支援する取り組みと、住み続けていただいている町民皆様の健康増進などの視点から実施してきた「ほろしん温泉町民優待事業」につきましては、地域資源を更に有効に活用していただくよう拡充することとして提案いたしております。

○JR留萌本線応援事業

深川市から沼田町間の存続を求め、引き続きJR留萌本線存続に向けて利用促進活動等に取り組むこととし、石狩沼田駅に人が集う仕掛けとして、町と包括連携協定



を締結している北海学園大学の協力を受け、地域おこし協力隊や住民の皆様と駅舎及び周辺の環境整備などに取り組むことと、地域公共交通の重要性や鉄道の歴史や魅力を再認識していただき地域鉄道応援の輪（JRに乗り続け隊）を広げてまいります。

また、「クラウス15号蒸気機関車」は保存状態から全国から注目されており、クラウスによって人と地域をつなぐ取り組みも進めてまいります。



〇防災対策について

近年、地球温暖化による気温上昇の要因により、経験したことがない台風の大型化や極地的な豪雨が引き起こす甚大な災害などが多発しており、また、10年前の東日本大震災の余震といわれる地震が過日発生し、多くの負傷者を出すなど各地で災害が頻発しております。

一昨年までは継続的に防災セミナーや訓練を開催実施してきましたが、昨年度は新型コロナウイルス



又感染防止の観点から実施を見送ったところであり、昨年実施できなかった、自衛隊や各関係機関と連携した防災訓練に取り組むこととしております。

また、大規模な災害が発生した際、地域住民が安心して避難所生活を送れるように、避難所の運営体制を迅速に確立し、円滑に運営する必要があることから、それぞれの避難所において地域住民で行う自主運営の基本的なルール等を定める「避難所運営マニュアル」を作成することとし所要額を予算計上いたしております。

結びに

我が国は、日本経済の高度成長期から地方の過疎化が進み、平成の時代から少子高齢化が叫ばれ、平成20年の人口ピークから人口減少社会を迎え社会構造が大きく変化し続けており、誰もが希望を抱いて迎えた「令和」の新時代の地域づくりは、東京一極集中の是正と地域の多様性を活かした分散型国土の形成と云われておりましたが、コロナ禍の影響により先行き不透明な状況が続いております。

私の所信であります「夢と希望と誇りの持てるまちづくり」は誰かがつくってくれるものではなく、私たち自身が築いていくものと考えております。

昨年、緊急スローガンとしたKEEP The 3000!「関係人口up!大作戦」は、町の将来を見据え、人口減少を和らげ人口三千人を維持することを一丸となつて取り組む旗印として掲げたものであり、結果として現在人口三千人の維持にいたっておりますが、移住者のバイブルと言われる「住みたい田舎ランキング」において3年連続で高い評価を受けており、このことは町政運営に励みとなつているところであります。今後も魅力ある地域情報の発信と、きめ細やかな相談対応により移住に繋げ、移住後は「移住して良かった、住み続けたい」と感じていただけることが次に繋がるものと考え、そのためには町が取り組む事業のみならず、新旧の移住定住者（町民）が本町ならではのコミュニティを形成し、まちの魅力を高めながら個性を伸ばし、人や社会を思いやる環境を町民皆

様と作り上げることが肝要であると考えております。

本年は、私が就任から3年目の任期折り返しの年となります。「沼田町第6次総合計画」に掲げる5つの基本目標の実現に向け、先人が積み重ねてこられた歴史・文化・伝統などの様々な資源（地域力）を有機的に深化させ、「雇用の創出・稼ぐ力の拡大」による地域力の持続的発展と、「子育て・教育環境の向上」による安心して子育てのできる環境づくり、「地域資源を磨き上げ」五感にはたらきかけて誘客する「関係人口の創出・拡大」を実現するため、町民皆様の声を聴かせていただき議論を深め、町民との絆を共に思いやる感謝で繋ぎ「オール沼田」で豊かな楽園づくりに邁進してまいりますので、町民の皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げ、令和3年度の町政執行方針といたします。